

「Z世代の興味や考え方を探る」：インタビューからのファインディングス①



● 戦略的な生き方・スキルの身に付け方を実践

- 中学生時代から動画配信を行い、自分の得意なプレゼン能力を培った。
- プレゼン能力が高いという長所を生かし、AO受験を決意。AO受験の実績作りのために、学生政治団体での活動やスタートアップ企業の起業に携わる。
- 起業した会社から退いた後、自分に足りない能力を分析し、その能力UPのためにアルバイトや就職先(業種)を選んだ。



エンジニアスキル・対人スキルを身に付けたので、貴重な「新卒カード」はB2Bの営業キャリアで切る

● 就職したら現実的。攻めと守りのバランスで上手く生きることを良しとする。

- 今は、仕事4：趣味4：それ以外2の割合で生活していきたい。現在は仕事よりも、趣味のために生きている。できれば仕事の時間を減らしたい。
- 趣味のゲームでも収入はあるが、趣味のみで生計を立てたいとは思わない。
- やりたいことでお金を稼ぐこと、やりたくないことでお金を稼ぐことをどちらかに全振りせずに、前者を攻めの投資、後者を守りの投資として両方が必要。
- 30歳を超えると、仕事と趣味どっちかに振り切らなきゃいけない人生の岐路が来ると考えている。そのために転職はしたいが、今はどっちかに振り切るかは決め切れていない。



30歳までのモラトリアム
攻めよりは守り重視

● 減価償却的発想でのコスパ重視、やや刹那的な浪費が同居

- 明日死ぬかもって考えたら、好きなことにお金や時間を使うことを我慢したくない。
- 減価償却の理論で、家や毎日使うものにはお金を使う。
- 仕事の後に趣味の時間を必ず取るため、睡眠時間を削っている。(平均睡眠時間4時間)
- 食に関心がないわけではないが、料理したり、健康面に気を遣って食事したいという考えはない。最近では食事宅配の「ナッシュ」を使っている



プライベートを豊かにするためには、お金や時間を使うことは惜しまない。

「Z世代の興味や考え方を探る」：インタビューからのファインディングス②

● 発信はTwitterとnote。デジタル情報だけでなくリアルに人からも影響を受ける。

- Tik Tok、Twitter、Instagram、Youtube 全て活用。Noteは発信用に趣味のブログを有料公開している。noteは有料な分、クオリティの高さを担保している。その情報が必要な人だけが買ってくれるので、新たなビジネスになっている。
- 多くの人に影響を受けている。インターンで叱ってくれた人に感謝している



S N Sの活用も戦略的、一方で意図せず他人からの影響も大きい。

● 社会にありがとうと言いたくなる経験がないから、社会貢献したいとは思わない

- 「1.人との関係やコミュニティーを重視する」「3.ブランドよりも個性や自分らしさを大事にする」「4.娯楽や体験にはお金を使う」「5.仕事とプライベートを両立するために安定的な仕事を持つことが重要」は合っている。「2.お金を使わない」も部分的には合っている。(5/7)
- 「6.育児休業をとって積極的に育児に関わりたい」は自分とは合わない。結婚とか育児は今は全く考えていない。40代とかになったら変わるかもしれない。個人的にそう思うだけで、周りに6に当てはまる人は多いと思う。恋愛には関心があって、マッチングアプリを使用している。
- 「7.社会貢献にやりがいを感じる」も自分と合っているとは思わない。生まれてから社会全体が不安定だったので、日本社会に期待していない。景気がいい時期を味わっていないから社会にありがたみを感じず、貢献したいと思えない。それよりも自分のために生きたい。自分だけがそう思っているというより、自分の世代の大多数が7は当てはまらないと思う。100人いたら60～70人は当てはまらないと思う。



福祉活動はAOのため。内なる動機とはなっていない。